

丸座・ND座・F5D座 レバーハンドル錠 取付説明書

⚠注意 この表示は誤ると「傷を負うか、又は物的障害の可能性が想定される」内容です。



禁止

※本製品は一般住宅屋内専用(浴室を除く)ですので、玄関等の屋外や多数の方々がご利用する商業施設などでは使用しないでください。
※シリンダー錠は商業施設等の多頻度使用には適さない仕様ですので使用しないでください。キーやシリンダーの摩耗で正しく施解錠できなくなることがあります。
※電動ドライバーは使用しないでください。
各取付ネジは製品の変形・破損、扉の変形に注意し、作動不良が無いようにしっかりと締め付けてください。
※本製品は分解、改造をしないでください。



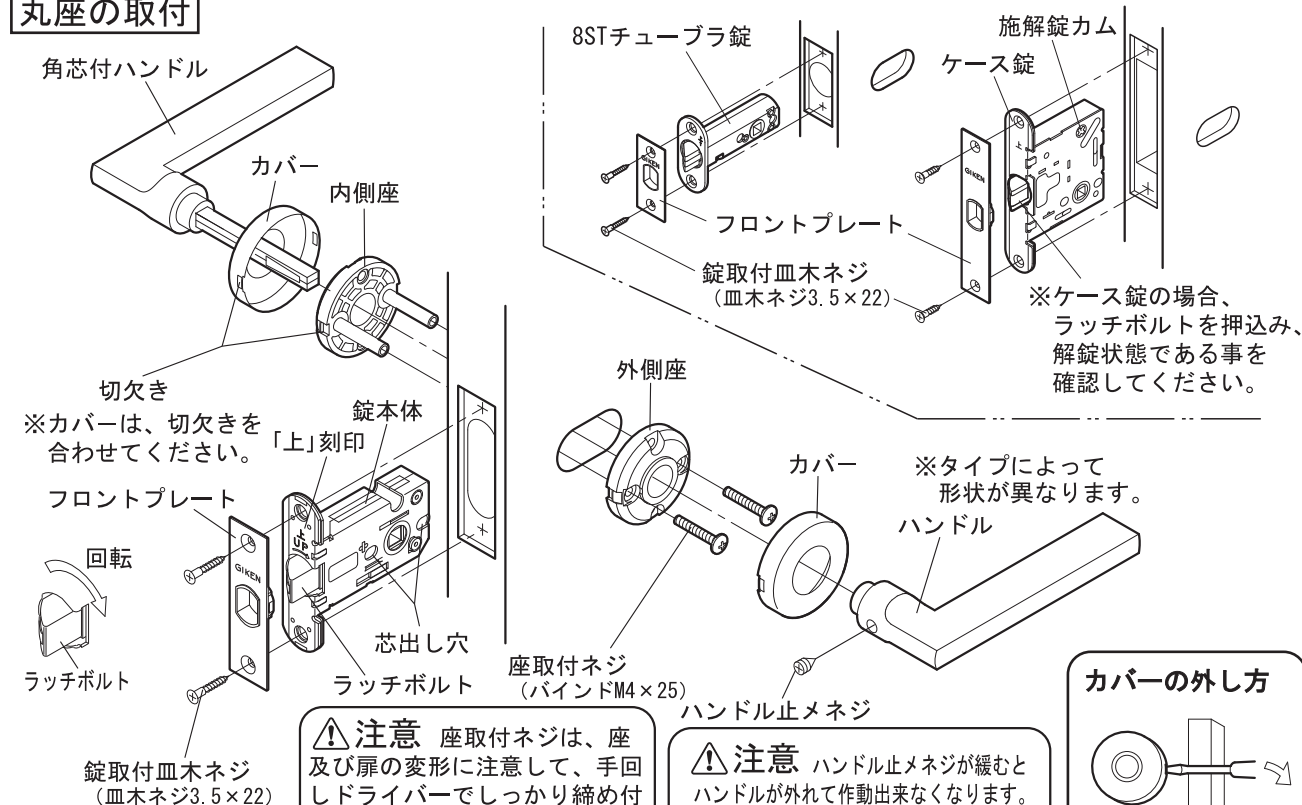
株式会社 川口技研

〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41
TEL 048-255-5411
FAX 048-255-8228
<https://www.kawaguchigiken.co.jp/>

施工前にこの取付説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されますようお願い致します。

使用可能扉厚 28~40mm

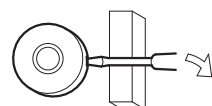
丸座の取付



取付方法

- 裏面の取付型紙に従って、扉に加工をしてください。
- ケース錠の場合、ラッチボルトを指で押込んでみて、ラッチボルトが押込める解錠状態である事を確認します。ラッチボルトが押込めない場合には、施解錠カムをドライバー等で回してラッチボルトを押込める状態にしてください。
LSミニケース錠・8STチューブラ錠の場合は、この作業は不要です。
- 錠本体の「上」刻印を上にして扉に挿入して、扉の開閉する向きに合わせてラッチボルトを回転させます。
- 「G I K E N」刻印の向きに合わせてフロントプレートを取り付け、錠取付皿木ネジで固定してください。
- 内外の座を座取付ネジで仮止めし、両側のハンドルを差し込みます。
- 両側のハンドルを動かし、スムーズに動くことを確認し、座及び扉の変形に注意して、作動不良が無いように、座取付ネジを手回しドライバーでしっかり締め付けて、固定してください。
- 仮止めした両側のハンドルを一旦外し、座カバーを座の切欠きに合わせてはめ込んでください。
- ハンドルは角芯付ハンドルを室内側に取り付け、室外側はハンドル止メネジでしっかり締め付けて、固定してください。
ハンドルデザインによっては角芯付ハンドルが室内側に取り付け出来ない場合があります。
その場合は、ハンドルデザインの向きに合わせてハンドルを取り付けてください。
- 裏面を参考にして、調整ストライクをラッチボルトの位置に合わせて取り付けてください。

カバーの外し方



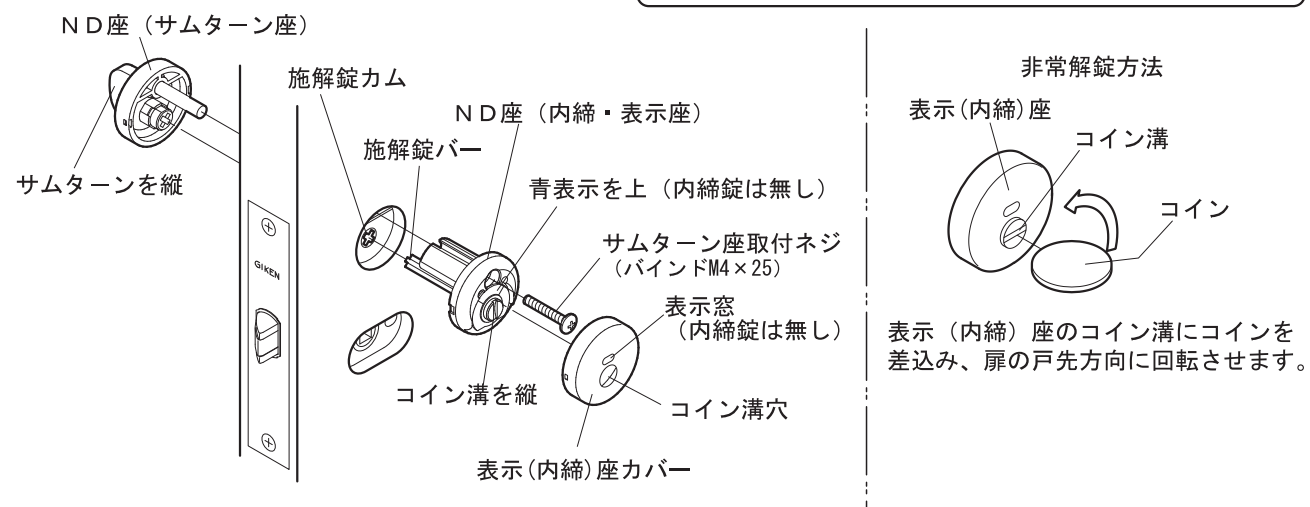
マイナスドライバーを
カバー横部の凹部に
当て木を添えてから
差し込み、カバーを
外してください。

LV Sケース錠・SV Sケース錠仕様 ND座の取付

内締・表示錠の場合



座及び扉の変形に注意して、作動不良が無いように手回しドライバーでしっかり締付けてください。

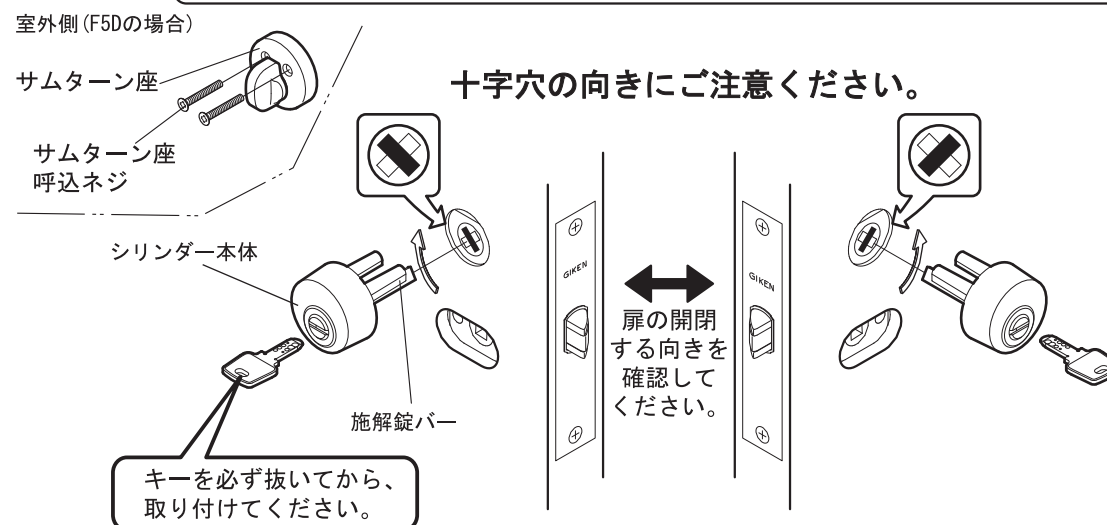


1. コイン溝を縦（表示座の表示の青を上）にして、施解錠バーを錠本体の施解錠カムの十字穴に通します。内側のサムターンも縦にして表示（内締）座とサムターン座を組合わせます。
2. サムターンを回して、ハンドルの正しく固定・解除されることを確認してから、動きの良い所でサムターン座取付ネジを締め付けてください。
3. 表示（内締）座カバーを、コイン溝とコイン溝穴の位置と合わせてはめ込んでください。

シリンダー錠の場合

1. キーをシリンダー本体から必ず抜いてください。
キーを差し込んだままでは正しく取り付けることが出来ない場合がありますのでご注意ください。
2. 扉の開閉する向きに合わせて施錠バーを矢印の方向に傾け、錠本体の施錠カム十字穴の黒塗側に通します。
3. サムターンを回して、ハンドルが正しく固定・解除されることを確認してから、動きの良い所でサムターン座取付ネジを締め付けてください。

施解錠バーの挿入する向きを逆にすると、正常動作できなくなりますので、ご注意ください。



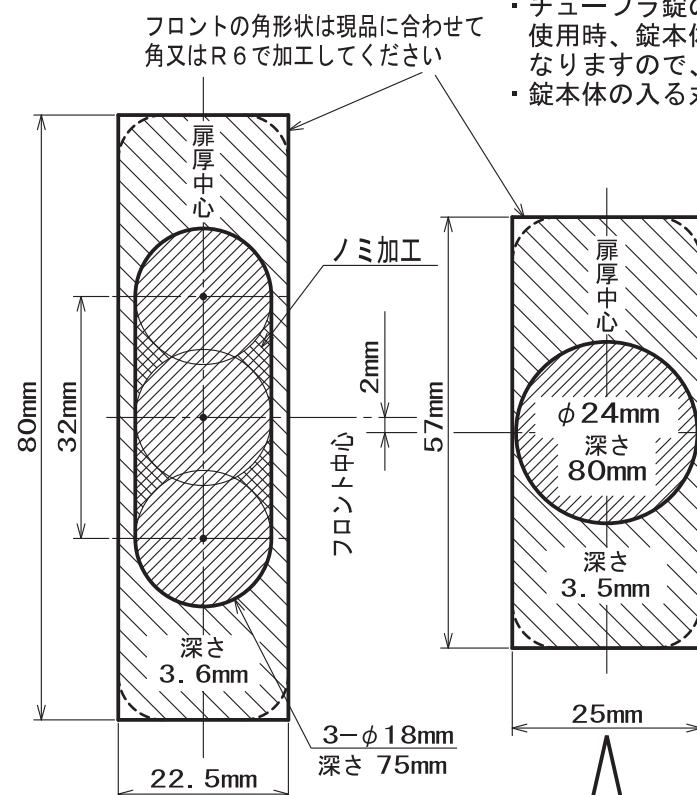
取付完了後は必ず作動確認を行ない、正常な動きを確認してください。

取付型紙



注意

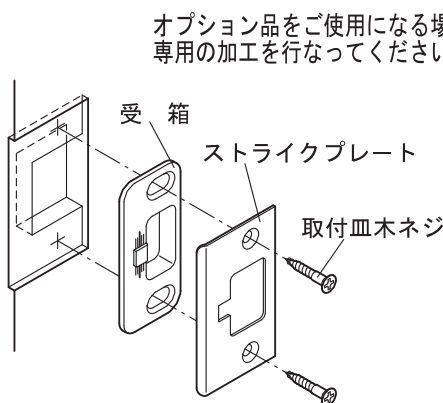
- 必ず指定寸法で加工してください。
- 取付型紙をコピーして使用する場合は、原寸大であることを必ず確認してください。
- 扉表面の穴を先に、横手面からの穴を後に加工してください。
- チューブラ錠の場合、錠本体が入る穴の加工が大きすぎると使用時、錠本体に負担がかかりやすくなり重大な故障の原因になりますので、必ず指定寸法（φ24mm）で加工してください。
- 錠本体の入る丸穴やフロントは、真っ直ぐに加工してください。



LSミニケース錠

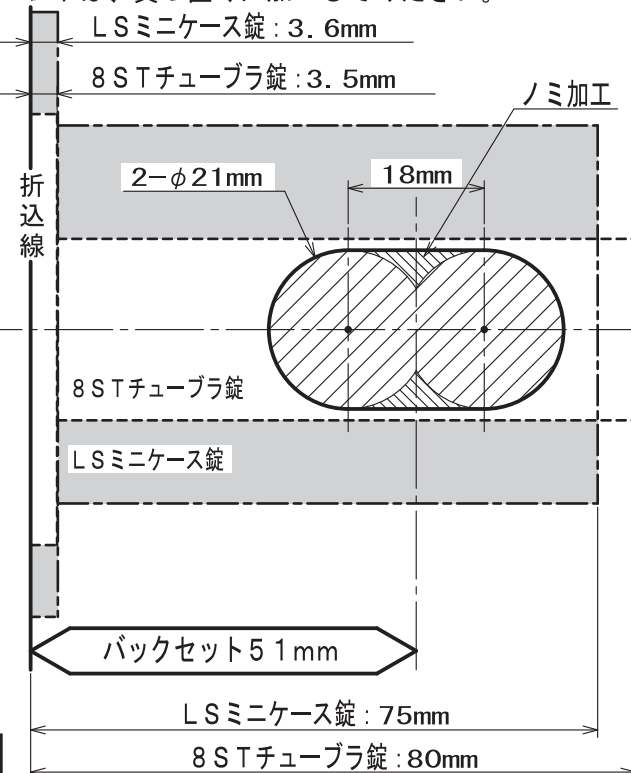
8STチューブラ錠

調整ストライク（S25）標準品取付型紙

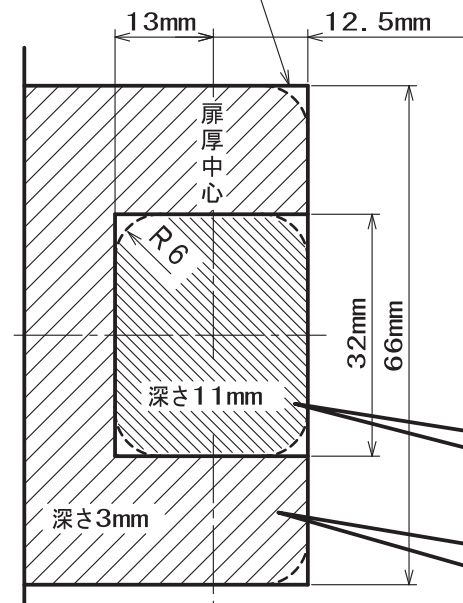


取付方法

- 取付型紙に従って、枠に加工をしてください。
- 上図のように取り付け、仮止めしてください。
- 受箱をラッチボルトに合わせて動かしてください。
- 取付皿木ネジで固定してください。



ストライクの角形状は現品に合わせて角又はR6で加工してください。

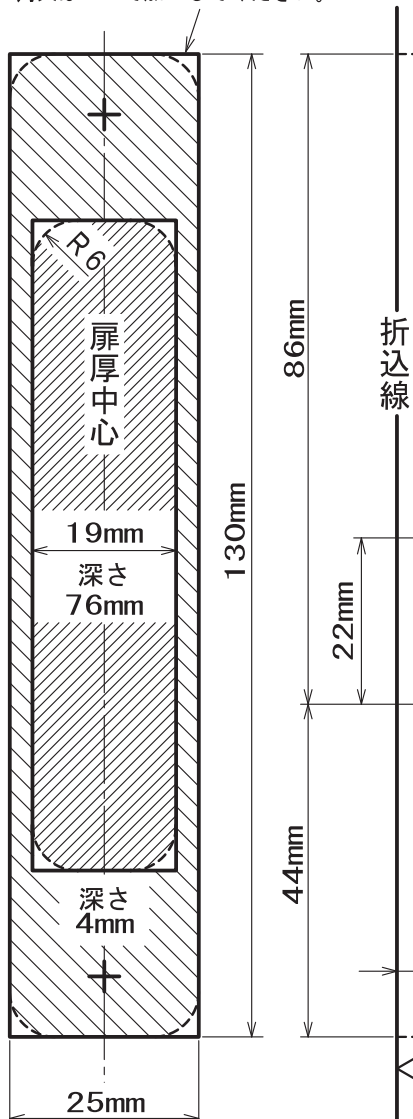


必ず指定寸法で加工してください。

※受箱の入る穴は、図の通り加工してください。小さめに加工しますと、調整範囲が狭くなる事があります。

※この面が平滑でないと、木ネジで締めても受箱が固定できないことがありますので、ご注意ください。

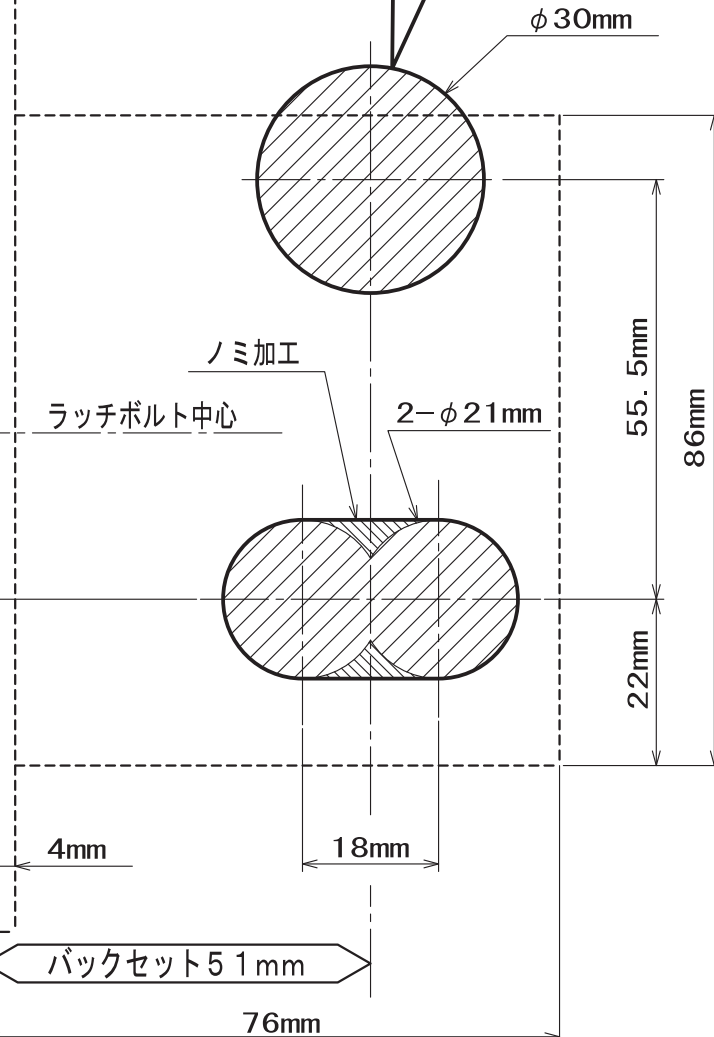
フロントの角形状は現品に合わせて角又はR6で加工してください。



LVS・SVS
ケース錠

使用可能扉厚 28～40mm

* 空錠の時は必要ありません



- 必ず指定寸法で加工してください。
- ケースロックの厚みに合わせて19mmで彫込んでください。彫込みが広すぎると、ケースロックとドアの隙間が大きくなるため、座の取り付けネジを強く締むとドアがへこむ恐れがあり、カパーの掛りが悪くなる場合がありますのでご注意ください。

受箱の調整方法

